

# 公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和7年12月17日（水）午後1時30分から午後3時40分までの間

第2 出席者 前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長・警備部長・情報通信部長  
首席監察官、総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官

第3 議事の概要

## 1 委員説示

委員から、「公安委員として今年1年を振り返ると、県警幹部の真摯な態度が印象に残っている。定例会議における議案審議や報告にあたって、丁寧に関わりやすく、意を用いて説明していただき、また、委員からの意見・要望に対しても都度誠実に対応していただいている。こうした真摯な態度や姿勢は、幹部職員のみならず、交番や駐在所など現場で活動している警察官、警察署の窓口職員など全ての警察職員に求められ、県警が運営指針に掲げる『強く優しい警察』の基礎となるものである。今後とも県民の立場に立った組織運営をお願いするとともに、今夏全国的に話題となったよさこい祭りへの参加など、新たな取組へのチャレンジ精神も持ち続けていただきたい。」旨の説示があった。

## 2 審議事項

### ○ 警察職員の援助要求について

警備部から、他県公安委員会からの警察職員の援助要求について説明があった。

委員から、「冬期は路面凍結のおそれもあり、各種事故防止に十分注意していただきたい。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「派遣先では任務の遂行に務め、規律の保持を徹底していただきたい。」旨の発言があった。

審議の結果、原案のとおり決定した。

### 3 報告事項

#### (1) 令和8年「110番の日」における広報啓発活動について（資料1）

生活安全部から、令和8年110番の日における広報啓発活動について説明があった。

委員から、「1日100件以上の110番通報がある中、4割以上がいたずらや誤報等の非有効受理とのことで、業務の一部妨げになっていると思われる。有効受理の割合を高めるため適切な利用に向けたより一層の広報が必要と思う。また、119番など他の緊急通報と比べて、110番は県民にとってかけにくい番号という印象があり、利用促進のための効果的な広報も検討していただきたい。」旨の発言があり、警察本部から、「110番は県民と警察を繋ぎ、警察がスピード感を持った対応をするための大事な窓口であるが、実態として本来の目的に反する通報も少なからずある。今回の啓発活動等を通じて、県民に正しく通報していただけるよう、また、有事の際に安心して110番を利用していただけるよう周知を図ってまいりたい。」旨の説明があった。

また、別の委員から、「公安委員に選任された際、自宅に110番非常通報装置を設置してもらったが、試験通報の際に3台くらいのパトカーがあつという間に来た。あまりの早さに驚くと同時に、これなら緊急の場合でも安心であると感じた。」旨の発言があり、警察本部から、「委員意見のとおり、何かあったときに警察が速やかに動いてくれるという安心感を県民に持ってもらうことが大事であり、スピード感を持った対応を徹底させることで、安心感の更なる醸成を目指してまいりたい。」旨の説明があった。

また、別の委員から、「急を要しない相談や要望などの窓口である警察相談電話『#9110』の存在を知らない人が多いと思われ、今回の広報イベントなどを通じて、110番と併せた利用周知の徹底をお願いします。また、110番通報の積極利用については、企業や学校などと連携した訓練をより広く行うべきだと思う。」旨の発言があった。

#### (2) 須崎港・高知港合同テロ対策訓練の実施について（資料2）

警備部から、須崎港・高知港合同テロ対策訓練の実施について説明があった。

委員から、「高知県は700キロ以上の海岸線を有しており、海岸や海の脅威からいかに県民を守るかということは大きな課題である。また、昨今の東アジア情勢をみ

ると、不審船への対策なども懸念されるところであり、こうした訓練は重要な意義を持つと思う。」旨の発言があり、警察本部から、「不審船に関しては、海岸に面する県下全ての警察署が関係機関や関係団体と『沿岸協力会』を組織して情報共有を図っており、今後も連携を密にしていきたいと思います。」旨の説明があった。

また、別の委員から、「日本国内ではあまりテロについて耳にしないが、関係機関が一堂に会する大規模訓練であり、緊張感を持って臨んでいただきたい。また、参加職員の多くは今後異動で入れ替わると思うので、訓練を通じて得られた知見や経験、課題を組織で共有、継承し続けていただきたい。」旨の発言があり、警察本部から、「テロリスト犯の入県という想定で、現実離れした印象を受けるかもしれないが、県民の安全を守る立場として、警察は想定外を想定とする必要があり、仮に有事が発生した場合でも迅速かつ的確にスピード感を持った対応ができるよう、しっかりと訓練を重ね、対処能力の向上を図ってまいります。」旨の説明があった。

#### 第4 個別決裁

- 1 公安委員会に対する苦情に係る調査結果及び申出者に対する回答について（2件）  
公安委員会事務室から、公安委員会に対する苦情に係る調査結果及び申出者に対する回答について説明があり、いずれも調査結果について了承の上、回答内容について原案を一部修正の上、決定した。
- 2 公安委員会への審査請求の受理及び審査請求に係る審理官の指名について  
公安委員会事務室から、運転免許証有効期間更新処分に対する公安委員会への審査請求の受理及び審査請求に係る審理官の指名について説明があり、了承した。

#### 第5 個別報告

- 監察案件について（3件）  
監察課から、監察案件について報告があった。